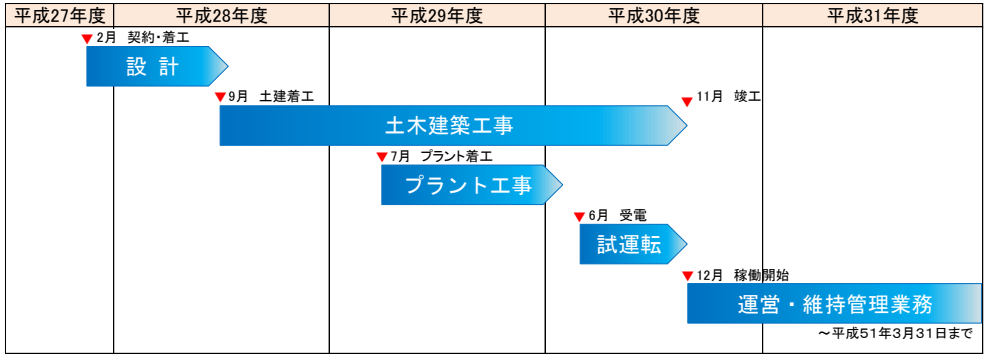
事　業　概　要

事　業　名 ： エネルギー回収施設（川口）建設及び運営事業
事 業 主 体 ： 山形広域環境事務組合
事 業 場 所 ： 上山市川口地内
事 業 方 式 ： ＤＢＯ（Design：設計、Build：建設、Operate：運営）方式
施 設 規 模 ： 150ｔ/日（75ｔ/日×2炉　24時間連続稼働）
処 理 方 式 ： 流動床式ガス化溶融方式
供 用 開 始 ： 平成30年12月1日
事 業 概 要 ： 【 設計 ・ 建設業務 】
　期　　間 ： 平成28年2月17日 ～ 平成30年11月30日
　契約金額 ： 9,851,271,840円（税込み）
　事 業 者 ： 神鋼・山形建設特定建設工事共同企業体
【 運営 ・ 維持管理業務 】
　期　　間 ： 平成30年12月1日 ～ 平成51年3月31日（20年4ヶ月間）
　契約金額 ： 9,048,728,160円（税込み）
　事 業 者 ： 株式会社かみのやま環境サービス

事業スケジュール



今後、この『建設だより』で随時、事業の進捗状況や施設の概要等をご紹介して参りますので、皆様のご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

【問合せ先】山形広域環境事務組合　管理課
〒990－8540　山形市旅篭町二丁目3番25号（山形市役所10階）
TEL 023-641-1844　　FAX 023-641-1845
E-mail:yamakokn@beach.ocn.ne.jp　HP-URL:www.yamagata-koiki.or.jp

山形広域環境事務組合
発行日：平成28年3月15日

エネルギー回収施設（川口）
建設だより

創刊号

本契約を締結しました！

施設全景イメージ

『エネルギー回収施設（川口）建設及び運営事業』については、DBO方式で実施することとして総合評価一般競争入札により民間事業者の選定を行い、神鋼環境ソリューショングループを落札者として決定しておりました。その後、２月１７日に開催された山形広域環境事務組合議会２月定例会において、当該事業の工事請負契約締結が議決されたことを受け、正式に本契約が成立しました。

神鋼環境ソリューショングループ構成
代 表 企 業 ： 株式会社神鋼環境ソリューション
構　成　員 ： 神鋼環境メンテナンス株式会社
協 力 企 業 ： 山形建設株式会社
山形パナソニック株式会社
松田建設株式会社
株式会社本間利雄設計事務所
株式会社山形ビルサービス
東北電機鉄工株式会社山形支店
東北ナノテック株式会社
株式会社イベントプロデュースガッツ
建設事業者： 神鋼・山形建設特定建設工事共同企業体
運営事業者： 株式会社かみのやま環境サービス

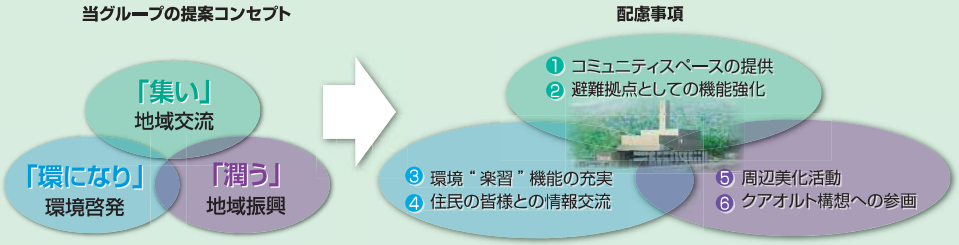
エネルギー回収施設（川口）建設及び運営事業　提案概要

神鋼環境ソリューショングループ

施設コンセプト

～地域の方々が集い、環になり、潤う施設～

「信頼できる施設」、「安心できる施設」、「親近感のある施設」という3つのテーマに、さらに地域交流、環境啓発、地域振興を3つの柱とした「みんなが集い、環になり、潤う施設」という提案コンセプトを加え、地域に根ざした施設とします。

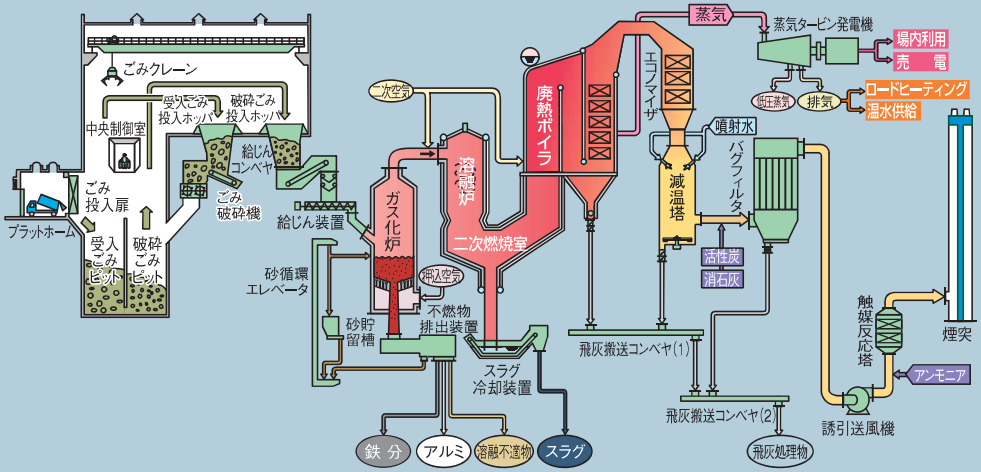


信頼できる施設

◆技術水準の高いシステム

流動床式ガス化溶融炉No.1の実績を織り込んだ最新かつ技術水準の高い施設とします。

エネルギー回収施設　フローシート



◆国内最高水準の高効率ごみ発電

熱回収能力の最大化（ボイラ型溶融炉）、蒸気の効率的利用（低温触媒）、システム効率の向上（高温高圧ボイラ、抽気式復水タービン）を組み合わせて、高効率ごみ発電施設要件（発電効率：14%）を大きく上回る国内最高水準（発電効率：約19%）のエネルギー回収施設とします。

◆信頼の事業実施体制

代表企業・構成員と地元協力企業8社が連携する万全の事業実施体制です。

安心できる施設

◆積極的な情報公開と
周辺住民の方々との意見交流

「積極的な情報公開」、「施設の開放」、「地域イベント活動の協賛」、「運営協議会等による意見反映」を通して、地域の方々との信頼関係を構築します。

◆防災拠点としての機能強化

東日本大震災で浮き彫りとなった「電力」、「水」、「燃料」不足を補うことができる防災拠点とします。300名×7日間の避難を想定した備蓄計画とし、地域の皆様の安全と安心に貢献します。

◆施設内動線の分離

付帯施設（こどもふれあい広場、足湯等）への一般来場者とエネルギー回収施設への一般持込車、ごみ収集車の動線を完全に分離し、安全と安心を約束します。

公害監視用データ表示盤（例）

防災備蓄品計画

名　称	要求水準	今回提案	備考（7日間の避難を想定）
水（2Lペットボトル）	500本	3,150本	3L/日・人×300人×7日=6,300L
非常食	600食	6,300食	300人分×3食分×7日=6,300食
毛布	400枚	600枚	300人分×2枚
幼児用紙おむつ	20名分	140名分	
離乳食	20名分	140名分	
粉ミルク	20名分	140名分	
生理用品	50個	350個	
卓上電気調理器	2台	3台	
発電式懐中電灯	20個	30個	
携帯電話用充電器	—	30個	
ラジオ	—	3台	情報収集用
カセットコンロ	—	30台	カセットボンベ210本
トイレットペーパー	—	200個	9m/日・人×300人×7日=18,900m
下着類	—	300名分	

親近感のある施設

◆環境“楽習”拠点

エネルギー回収施設、付帯施設（こどもふれあい広場、足湯等）、水場環境創出場等、地域との交流、自然との触れ合いを通して“楽しみながら学習”できる施設とします。

◆風土に根ざしたデザイン

上山城下町の歴史ある街並みと、自然に恵まれた豊かな山の風景に調和した地域住民の交流・学習拠点とします。

エントランス

展望フロア

中央制御室

外　観

水場環境創出場

こどもふれあい広場